

あそびば
こども
ならは

2024 年度活動報告書



いつも、ならはこどものあそびばを
あたたかく見守っていただき、ありがとうございます。

この1年、子どもたちの遊びは、ひとりで集中して制作すること
からともだちと一緒に協力する遊びへ変化しました。

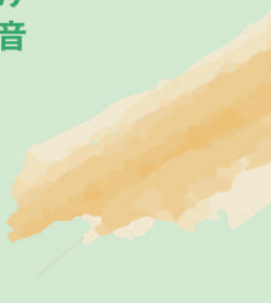
ともだち同士で遊ぶ中で、たくさんの衝突がありました。

自分のきもちを大切にすると同時に、
目の前の相手のきもちを大切にするのは、
とても難しいことです。

子どもたちは日々、この問いに向き合っているように見えます。

誰もが自分自身のきもちに向き合い、
相手のきもちを考え続けることができる
そんな場を目指し続けたいと思います。

認定 NPO 法人底上げ
スタッフ 日野涼音



あそびばで大切にしていること

人間形成の土台になる幼少期にこころが動く経験を

感じるこころ、感じあうこころ

ひとと自然、そして自分を思いやる想像力

想いを形にできる創造力

ならはこどものあそびばでは、「こころ」を大切にできる居場所を目指しています。いろんな感情になること、そしてそこから自分自身がどう行動するのかに目を向け、大切に尊重しながら拠点運営を行っています。

運営団体 認定 NPO 法人底上げ

できる感覚を、動く楽しみを、生きる喜びを、すべての若者に

2011 年、東日本大震災をきっかけに宮城県気仙沼市中高生の学習コミュニティ支援活動を始めました。現在では、気仙沼市内で子どもの探究的な学びに関わる事業や、大学生や若者の合宿やゼミ形式を通じた心のエンパワメント事業を仙台・気仙沼を中心に東北で行っています。2022 年度より、檜葉在住のスタッフ日野が福島県での活動としてならはこどものあそびば事業を開始しました。



あそびばのあゆみ 2024

4 月



からだの柔らかさを比べるよ
私はこんなところまで行ける！

5 月



子どもたち企画で、くじびき
いろみずの屋台を出しました！

6 月



みんなで牛乳パックハウスに
ぎゅうぎゅう詰めで入った！

10 月



カタツムリのでんちゃんと
つむちゃんが仲間入り！

11 月



押し入れを改造するのに
集中することこもたち

12 月



クリスマスのケーキづくり！
かわいいケーキができたね

数字で見るあそびば

開所
回数

164 回

7 月



あそびばの外に本棚を設置！
七夕の願いごとをかきました

8 月



巨大プリンを飾り付けして
みんなで食べました！

9 月



まだ暖かい日がつづき、
毎度お外でお絵描きタイム

1 月



みんなでルールを決めながら
おうちごっこ

2 月



つくえはカラフルがいいよね～
とペイントを始めました♪

3 月



地域のかたがお茶を持って
遊びに来てくれました！

参加
人数

延べ

610 人

参加
年齢

3～11 歳

(年少～小5)

まねする

ならはこどものあそびばのこどもたちは、
まねをするところからあそびが始まります。

「今日は〇〇ちゃんがお母さんね！」「YouTube で見たやつやってみたい！」
いつかのどこかでみたものを、どうやったらあそびばで
それっぽくできるか工夫をしながらあそびます。

“まなぶ” は “まねぶ”
まねをすることから全ては始まります。





学校でやった
習字で字がかきたくて
なんかいも練習！



あそびばにあるもので
BBQ セットの出来上がり！



近くに生えてた草たちで料理♪



自分でつえをつくって
おばあちゃんのマネ～



ゲームのキャラクターを
つくってなりきり！

ためす

ならばこどものあそびばのこどもたちは、
日々、ちいさいいろんな実験を行っています。

これにこれを混ぜたらどうなる？この色とこの色を混ぜたらどうなる？
“ためす”のは、“知りたい”から。

あそびばで行われるどうなる？の疑問から始まる
こどもたちの行動は、奇想天外なものばかり。
ためさないとわからないことばかりだもんね。





自分でつくったナスを料理してみる！



バケツの水に
飛び込んでみる！



水をまいてみる！キラキラきれい！



用水路に葉っぱを流してみる



お外でねてみる！

スる

ならはこどものあそびばのこどもたちは、
毎日いろんな作品をつくっています。

絵の具で描いた絵、たまたまできた影、真剣につくった工作
あそびば自体が、こどもたちみんなでつくる空間です。

自分がやりたいこと、自分が過ごしたい空間
みんながつくったもの、みんなが過ごしやすい場所
そんな場所をみんなでつくっています。





みて〜！大きい虹！



とびっきりかっこいい車をつくるぞ！



あそびばがわかるように
大きくかいておくね！



今日は外で絵がかきたい気分！

ねんどのふでを刺したら...
怪物になった！！



くりかえす

ならばこどものあそびばのこどもたちは、
できるようになりたいことは、くりかえして何度もチャレンジしています。

けん玉やあやとり、なわとびなど
やりたい技をできるようになるまで練習しています。
一見すると練習しているだけに見えますが、これも立派な“あそび”です。

毎回同じあそびをすることも多いです。
同じことをしているときも毎回違う楽しさがあるのです。





この体勢楽なんだよね～



積み上げにチャレンジ！



お散歩は毎回の楽しみ

けん玉はできるように
なるまで何度もやります！



夏はセミの抜け殻さがし！



か かわる

ならばこどものあそびばのこどもたちは、
学年や年齢の違うこどもたち同士が、混ざり合っていてあそんでいます。

普段は末っ子だけど、今日だけはお姉さんになったり
やっぱりお兄さんお姉さんは面倒見がよかったり
年齢のちがうともだち同士であそべるのもあそびばの魅力。

年齢はちがうけど、ともだち。学年はちがうけど、なかま。
みんなで協力してあそんでいます。





地域のかたにいただき
スイカ割りに挑戦!

学年は違うけど
ずっとお話しできるね



地域もほくたちのあそびば!



外に出て、自分のやりたいことを
やるよ!



葉っぱだって遊び道具
なにを発見した?



あそびば NEWS

高校生企画大成功！



夏休みに、ふたば未来学園高等学校のみなさんが流しそうめんを企画してくれました！水遊びもできて大満足の1日になりました！

石巻にあそびば見学



ほかのあそびばも見に行ってみよう！ということで、宮城県石巻市に行ってきました。遊んだり電車を見たり、盛りだくさんの旅になりました。

押し入れリニューアル！



NPO 法人かぎっこ PROJECT さんにご協力いただき、押し入れをリニューアルしました！絵が描けたり、電気がついたりパワーアップ！

成果展 & 報告会



3 月には、1 年間のまとめ「みてみて！」展の開催と、活動の報告会を行い、多くの方に活動をみていただく機会となりました。

あそびば利用者の声

学校帰りにあそびばに行くのを楽しみにしています。

家ではなかなかできない遊びを
自由にやらせてもらっているのがとても楽しいようです。
年上のお友達とも仲良くなり今度一緒に遊ぼうねなどと
約束をしてくるようにもなりました。

あそびばを通して子どもの成長も感じられます。
子どもたちが集まって自由に遊べる場所を
つくっていただきありがとうございます。

あそびば保護者 遠藤明日香

遊び場は自由で
仲良くなれるこ
が良いいと思います。

じゅんこう

ほいさかいおもう
あそびばいいところは
ほいさかいおもうなけん玉が
あるところていす。

こいそ
もりてい

みなさんからの声

目の前のことだけに集中して全力で遊ぶこと。

子どもたちにとって、

これほど大事なことはないのではないのでしょうか。

そんな「充実した今」が積み重なった先に、
想像を超えた未来がひらけていくような気がします。

あそびばから、素敵な未来が
たくさん生まれていきますように。

NPO 法人みやっこベース
早川輝



あそびばでは、おとなのほんの一言の工夫で、

こどもの目が輝き、創造力と自分らしさが
爆発していく瞬間を目の当たりにしてきました。

同時に「自分だったら、どんな声をかけるだろう？」

という問いが、自然と頭の中に広がります。

あそびばは、こどもに関わるおとなにも、
新鮮な気づきと学びをもたらしてくれる存在です。

いわき・双葉の子育て応援コミュニティ cotohana
鈴木みなみ



あそびばは、子どもたちが自分の意思で
選んで集まる場所になっていると思います。

昔は誰かに用意されたわけではなく、
自然と集まる場がありましたが、
今は少なくなった気がします。

大人が少し煩くなったからですかね。

だからこそ、子どもたちが「ここで過ごしたい」と
思えるあそびばの存在は貴重なのだと思います。

昔のたまり場だった管野商店が
新しく活かされているのも嬉しいです。
これからも、町の大切な居場所であってほしいです！

一般社団法人ならはみらい
木村英一



大学生インターンからの声

沢山の感情の渦に巻かれた
1年間を過ごすことができました！
いつもあそびばに向かうときに、
「今日はこんなことしようかな」と
頭の中にいくつも浮かんで、
でも絶対にその通りにはいかなくて。
その日に集まった子たちと、
床に撒いた水がキラキラしていたり、
アリが食べるお菓子は何か観察したり、
その瞬間瞬間の気持ちの高まりを
共有できたことが何より幸せでした。
こんな濃い時間を過ごさせていただき、
本当にありがとうございました！

原田夏葵（なつつん）



本当にあらかじめ用意された時程や
ルールのない自由なあそびばに最初は驚きました。
慣れてくるとそんな環境は
こどもたちだけのためではなくて、
同じ場にいるわたしたち大人にとっても
おなじように必要であると感じました。
「まあいっか」でいろんなことを
許せるようになると、自分のころにも素直に、
他者にもやさしくいられると思います。
あそびばのこどもたちが
どんなふうに大きくなるのかとてもたのしみです！
また会いにいきます！

世継万里沙（よっつー）



あそびばで過ごした1ヶ月間、
子どもたちの自由な発想や行動に何度も驚かされ、
あっという間に時間が過ぎました。
「今日で最後だよ」と伝え、「次いつ来る？」と聞かれ、
その言葉を自然に言える子どもって
すごいなと改めて感じました。
この場所は、自分にとっても特別で、大切な存在になりました。
また戻ってきて、子どもたちと
一緒に過ごしたいと思います。

遠藤果穂（かほ）



ならはこどものあそびば 2024 年度活動報告書

2025 年 3 月 31 日 発行

発行 認定 NPO 法人底上げ

ならはこどものあそびば

住 所 〒979-0514 福島県双葉郡檜葉町大字下小埜字町 95

メール ryo@sokoage.org（担当：日野）

運 営 認定 NPO 法人底上げ <https://sokoage.org/>

あそびば



Instagram

底上げ



公式 HP

底上げ



Instagram

この冊子は、公益社団法人ハタチ基金の助成をいただいて作成しています。